



# 図書館だより 1月

四日市メリノール学院図書館

新しい年を迎えました。新年早々、北陸での地震や飛行機事故があり、不安や心配な気持ちを持った人も多かったと思います。

高3の人の中には、これから一般入試を受験する人もいますが、インフルエンザやコロナ感染症が流行しているようです。受験生のみなさんはもちろん、在校生のみなさんも体調管理には十分気を付けてください。

今月は、中学・高校の入試があります。そのため入試に関係する休日あります。そんな時間を読書に使ってみましょう。

## <今月のおすすめ本>

「正欲」

朝井リョウ／著

新潮社/刊

昨年、公開された映画の原作本です。初版発行が2021年3月なので2年余りで映画化されたのは、取り上げている内容が時流じりゅうにあっているからかもしれません。「多様性」たようせい「ダイバーシティ」という言葉をよく耳にするようになりました。みなさんもSDGsについての学習で知っているのではないのでしょうか。この本は、「多様性」たようせいってなんだろう。それぞれの個性を認めるってどういうことなんだろう。と問いかけている様に感じる作品です。物語は、主に3人の人物を中心かに描かれています。不登校の息子を持つ検事。睡眠欲を満たせるからと、寝具販売店に転職した女性。異性への距離感に悩む学際実行委員の女子大生。それぞれの価値観と「多様性」を認めよう、という世間とのギャップなど。「みんな違ってみんないい」って本当にできますか？と問われているような内容です。「正しい欲」って？？書名の「正欲」も読む前と読んだ後では、「著書はどんな書名いとを意図でつけたのだろう？」と考えさせられる作品です。

